

創造主の祝福の中で人類史は始まった

*** 聖書の味、旨味、香りを賞味する ***

蛍池聖書教会 2023.7.9(日)

クリエーション・リサーチ・ジャパン 安藤 和子

聖書箇所 創世紀 1:1, 31, 2:3

初めに、神が天と地を創造した。

神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった。夕があり、朝があった。第六日。神は第七日目を祝福し、この日を聖であるとされた。それは、その日に、神がなさっていたすべての創造のわざを休まれたからである。

【I】天地万物の創造

創世紀 1:1 初めに、神が天と地を創造した。

聖書の冒頭に、創造主が大宣言をされている、重要な一節。神は全て一切のものを創造されたのだという大前提を忘れてはならない。人間はそのことを忘れてしまいがちである。物質はもとより、世界の秩序、自然法則、その他諸々の事象を、神が創造し、そして今もなお守っていて下さるのだということを、滑りそうになったときに思い起こさねばならない。

聖書は全知全能の神の著書である。秩序ある世界を順序正しく創造された経緯について、創世紀1章1節から2章3節まで、重要な点を網羅して記載して私たちに与えられた。

1) 水の創造、光の創造

神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。(創1:3)

この光については、21世紀の物理学では「粒子」「波」の性質を持つものという定義をしているが、専門家でなければなかなか理解出来ない。しかし、光は太陽ではなく、光そのものである。太陽は光を発する源、光源であり、電球や蛍光灯、あるいは懐中電灯と同じであり、光量が異なるだけである。

そして、「夕があり、朝があった。第一日」(創1:5b)と記されている。すなわち、①地球は創られたと同時に自転を始めていたこと、②24時間で1回自転するように定められたこと、③創造は、一日一日と規則正しく刻まれていくことが記されている。

2) 地球の整備・海と陸に分離

続いて、神は大空を造られた。大空から地球を分けられた後に、海と陸に二分された。造られたときの地球は、陸が1つ、海が1つであった。

3) 大気の整備・酸素 20%、窒素 79%、炭酸ガス 0.03%

神が造られた大空は何もない空間ではなく、空気が存在する大空である。普段私たちはこの空気の重要性に気が付かないでいるが、創造された大気は地球を包み、地球に生えさせられた植物、そして地上の動物、特に人の存在のために、然るべき気体が然るべき比率で完璧に整えられている。この量比がずれる許容範囲は非常に低い。酸素の薄い高山に登るには、酸素ボンベを持っていかなければならないことは、誰でも知っているだろう。

4) 植物の創造・酸素&糖(栄養)供給、空気浄化

神は地球を海と乾燥した大地とに分けられた。海の水がどのようなものであったかは不明であるが、現在とは大幅に異なっていたと考えられている。

陸地には、豊かに緑の葉を茂らせた草木、花が咲き、果樹が実って成熟した植物を生えさせられた。植物も生育には酸素を必要とするが、微量に存在する炭酸ガスは必須である。緑の葉が炭酸ガスを取り込み、水と共に光のエネルギーを有機物である糖に変換する。動物のエネルギーを供給するのは、この働きに依る。

5) 天体の創造・太陽、月、星(昼と夜、季節)

地球が整った後に、太陽、月を初めとして、近い星、遠い星など全ての天体が創造された。地球は、「人の住みかとするために」(イザヤ 45:18)整えられたのである。全てのこの中心に人が置かれていることを、覚えておく必要がある。

天体のことは人類には未知のことが多いので創造された時点での姿は分からない。地球が大きな磁石として創造されたことは事実であるが、常時吹き付けている太陽風や、しばしば大気圏に突入してくる数多くの彗星や隕石が創造時にも現在のようなようだったのかは不明である。

6) 命の創造・鳥、魚、陸の生き物

命を支えるための全ての準備が整った後に、地上にいのちのあるものを創造された(レビ記 17:11)。そして、「生めよ、ふえよ」と祝福された。

7) 人の創造・正常に維持する管理、監督の任務

これはアダムの歴史の記録である。神は人を創造されたとき、神に似せて彼を造られ、男と女とに彼らを創造された。彼らが創造された日に、神は彼らを祝福して、その名を人と呼ばれた。(創 5:1,2)

こうして、人が地上で幸せに生きていけるためのあらゆる準備を整えた後に、神は人を創造された。地球を取り巻く宇宙・天体の環境、地球の自然環境が人を支え、地上に置かれた植物、そして水や空に生きる生き物、野に生きる生き物、そして人と親しく接する家畜などが、人に仕え、支えることが出来るように準備されたのである。人間が世界の中心であり自立して存在していると、人は傲慢にも思い込んでいるようであるが、神が創造なさったときには、相互に支え合い、依存し合って存在するようにと、準備万端を最高の状態に整えた後に、愛の対象である人を置かれたのである。

そうして創造された全てのものを維持する管理、監督する名誉ある任務を与えられたのである。(創1:28)

【Ⅱ】祝福された人類史

彼女は男の子を産み、その子をセツと名づけて言った。「カインがアベルを殺したので、彼の代わりに、神は私にもうひとりの子を授けられたから。」(創4:25)

アダムは、百三十年生きて、彼に似た、彼のかたちどおりの子を生んだ。彼はその子をセツと名づけた。アダムは全部で九百三十年生きた。(創5:3, 5a)

1) セツが生まれるまでの130年の歴史

アダムの創造130年後に、セツが誕生。
アベルが殺され、カインはノデに追放された後、地上にいたのは、3人だけ？

カインの妻はどこから来たの？

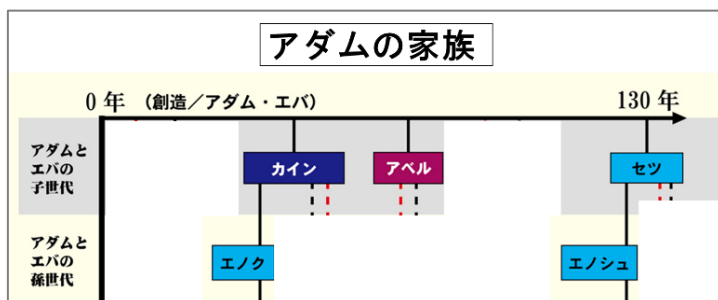
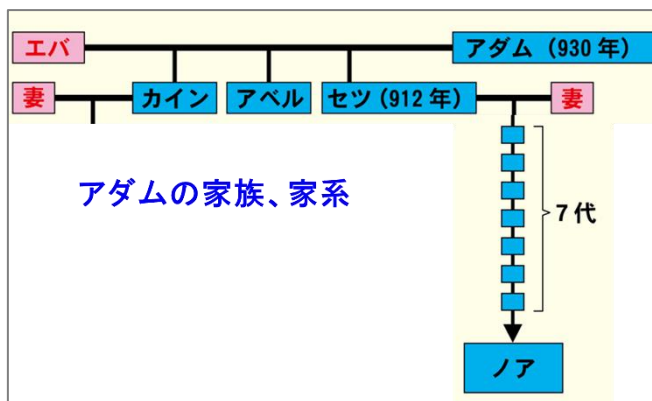
セツの妻は誰？

・カインが農夫となり、アベルは羊飼いになった。二人はそれぞれ自分たちの労働で手にしたものを、捧げ物として持ってきた。(創4:1-4)

・・・これはいつのことか？

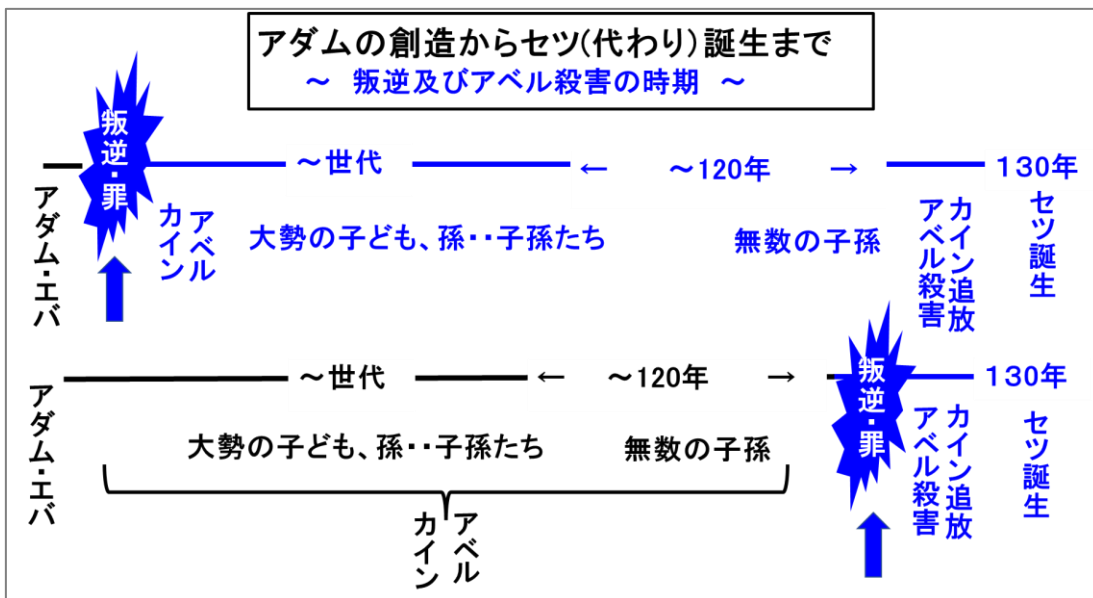
アダムから三代目までの聖書に書かれている人物は右の図の6名だけ(アベルは殺された)

他に人はいなかったのか？



2) アダムの叛逆の時期、アベル殺害の時期

- ・アダムはいつ創造主に叛逆したのだろうか？
- ・カインはいつアベルを殺したのだろうか？
- ・カインが追放されたときには、地上には無数の人々が住んでいた。(創 4:14, 15)
- ・セツはアベルの代わりに与えられたので、アベルの死から間もなくセツが生まれた。



3) 人類史の始まり:総括

創 1:31b, 2:1-3

見よ。それは非常に良かった。

こうして、天と地とそのすべての万象が完成された。神は第七日目に、なさっていたわざの完成を告げられた。神は第七日目を祝福し、この日を聖であるとされた。

結語 神の愛と祝福の記憶を持っていた人類

ご案内

- ・ 安藤和子の聖書メッセージ URL : <http://andowako.holy.jp/bible/>
ショートメッセージと、質疑応答の動画。スマホ対応しています。
- ・ クリスマン科学者安藤和子 <http://andowako.jp/>
創造以外の様々な話題を、かなり詳細に記述。スマホ対応無し
- ・ 安藤和子のブログ <http://blog.andowako.jp/>
聖書以外に、コロナの問題、科学の問題等を取り上げています。スマホ対応無し